


氏名・職名	武藤 慎一 教授	
キーワード	<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益分析, 公共事業評価 ・SDGs(持続可能な目標)の政策評価 	
最近の研究内容	<p>空間的応用一般均衡(SCGE)モデル等による交通整備の便益評価 SDGsの実現のための産業政策、都市政策、料金政策評価</p> <p>http://sangaku.yamanashi.ac.jp/SearchResearcher/contents/85ED1D4F78C894A3.html</p>	
研究者から一言	<p>私は、これまで空間的応用一般均衡(SCGE)モデルを用いた交通整備等の公共事業評価に係る研究を行ってきました。具体的には、中部横断自動車道やリニア中央新幹線の整備が、山梨を中心とした地域経済にもたらす効果、影響の評価をしてきました。さらに、追加的な産業政策やアクセス交通整備などが、地域にどのような効果をもたらすのかを明らかにし、政策提言を行ってきました。</p> <p>このような研究に加え、これからはSDGs(持続可能な目標)の実現が重要な課題になってきます。持続可能な地域経済、環境と調和した(グリーンインフラの活用)持続可能な発展、持続可能な社会基盤の維持管理の実現といった、SDGsに係る課題が数多くあります。これらの課題に、官公庁を含む企業の皆様と取り組んでいきたいと考えています。</p>	

<現在の研究分野>

□ 地域交通整備・都市政策の便益評価

将来の人口減少と立地適正化計画(都市政策)等を前提とした地域交通整備の便益評価を行い、地域に必要な政策提言をしています。

□ グリーンインフラを活用した地域環境政策評価

森林整備や林業の活性化により森林のグリーンインフラ機能を向上させ、豪雨災害抑止を図るなどの地域環境政策評価を行っています。

□ 社会基盤の持続可能な維持管理に向けた適正料金政策

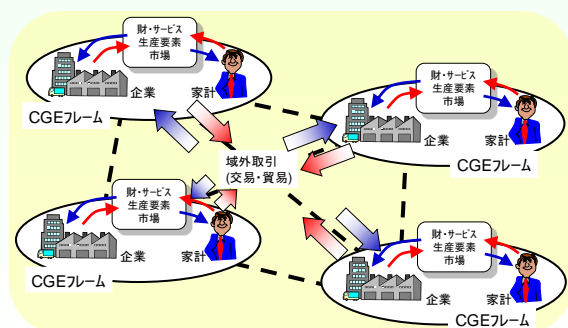
道路網や水道などの社会基盤の持続可能な維持管理に向けた費用負担問題を検討し、適正な料金水準を導出する研究をしています。

シミュレーション技術の向上と政策提言

現在、当研究室では「空間的応用一般均衡(SCGE)モデル」を開発し、そのシミュレーション計算による便益計測および政策提言を行っています。しかし、①SCGEモデル計算技術の向上、②地域経済構造分析の高度化、③政策提言のとりまとめと発信の方法の改善、に課題がありました。

①はSCGEモデル計算でのデータ整備、大規模シミュレーション計算の効率化、結果の表示に係る技術の向上、②は政策提言に必要な地域経済構造分析の高度化、③は地域発展あるいはSDGsの達成のための具体的な政策提言をわかりやすく伝える技術の改善のことです。

こうした技術開発を、企業の皆様と進めていきたいと考えています。



SCGEモデルの概要

- ①SCGEモデル計算技術の向上
- ②地域経済構造分析の高度化
- ③政策提言のとりまとめと発信の方法の改善

適用できる製品・産業のイメージ

- 公共事業評価シミュレーションと政策提言
- SDGs達成のための政策シミュレーションと政策提言
- 地域経済構造分析
- 持続可能な社会のための財源調達方策(料金政策)提案

◆シーズについてのお問合せ、ご相談先

Email: renkei-as@yamanashi.ac.jp

Tel: 055-220-8758 Fax: 055-220-8757

